

5分間研修

～ 8・9月 介護予防及び要介護度進行予防 ～

| 得点 |
|-----|
| /15 |

| | | | | | | | | |
|------------|-------|---|---|-------|---|---|---|--------|
| 所属 事業所名 | | | | 職種 | | | | |
| 氏名 | | | | | | | | |
| 研修日 | 西暦 | 年 | 月 | 日 () | : | ～ | : | 【 時間 】 |
| 研修場所 | | | | | | | | |
| 研修名 | 5分間研修 | | | | | | | |

1 介護予防の理念に関する以下の文章を読み、空欄に該当する語句を回答欄に記入しなさい

- 生活機能の低下した高齢者に対しては、リハビリテーションの理念を踏まえて、「心身機能」「活動」「(ア)」のそれぞれの要素にバランスよく働きかけることが重要であり、単に高齢者の運動機能や栄養状態といった心身機能の改善だけを目指すものではなく、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、それによって一人ひとりの生きがいや(イ)のための取組を支援して、(ウ)の向上を目指すものである。
- ICFの考え方では、本人の身体機能だけでなく、「(エ)因子」や「(オ)因子」が本人の生活機能に相互に影響を与え合っているとされている。
- 自立支援とは、単に身体動作についてのみいうものではなく、選択の自由なども含めた生活行為全般において本人の(カ)や想い、希望が反映され、主体的な生活が送れるようにサービスを整えることである。

2 これからの介護予防に関する以下の文章を読み、空欄に該当する語句を回答欄に記入しなさい

- 高齢者本人へのアプローチだけではなく、高齢者本人を取り巻く(キ)へのアプローチも含めたバランスのとれたアプローチを行い、(ク)を持って生活できる地域を目指す
- 高齢者もサービスの担い手としての役割を持ち、地域の中で新たな(ケ)を持つことで、結果として介護予防につなげる
- 地域の中での人と人とのつながりを通じて参加者や通いの場が(コ)に拡大していくような地域づくりを推進する
- (サ)が主体的に取り組む

3 地域包括ケアシステムに関する以下の文章を読み、空欄に該当する語句を回答欄に記入しなさい

- 地域包括ケアシステムとは、住み慣れた地域の中で「医療」「介護」「(シ)」「生活支援・介護予防」といったサービスを一体的に提供する体制である。
- 地域包括ケアシステムは、(ス)に在籍するケアマネジャーが、利用者の地域での生活をコーディネートし、可能な限り(セ)での生活を継続しようというものである。
- 地域で活動する介護事業所等は、ただ決められたケアの提供を行うだけではなく、常に「介護予防・(ソ)」の視点を持つことが必要である。

| | | | | | |
|---|--|---|--|---|--|
| ア | | イ | | ウ | |
| エ | | オ | | カ | |
| キ | | ク | | ケ | |
| コ | | サ | | シ | |
| ス | | セ | | ソ | |

4 今回の研修の学び（採点終了後に記入してください）

| |
|--|
| |
|--|